

社会倫理研究所2018年度第3回懇話会  
（「倫理学の可能性」研究プロジェクト+「法・制度・倫理」研究プロジェクト）

# 事故はなぜ起きるのか？ スポーツの心理と倫理を考える

日時：2018年9月22日（土）  
14:00～17:30（13:30開場）

場所：南山大学 R棟4階 R49教室

スポーツには危険が付き物である、というのは本当だろうか。確かに、スポーツの最中に事故や大怪我が発生することも少なくない。それは時に、悪意やハラスメントなどの要因に基づく「事件」として話題になることもある。私たちの関心はともするとそうした顕著な特異事例に集まりがちだが、より身近で重要な問題は、明確な事件としてではなく、結果として起こってしまった事故、あるいは、ある角度から見ると事件性を帯びるようにも見える事故にこそあると言えないだろうか。

今回の懇話会では、スポーツにおける事故とその責任、たとえば、指導者の安全配慮義務やスポーツ従事者本人の自己責任の範囲の問題などを視野に入れて、スポーツが根本的に抱え込んでいる危険性と安全性のアンバランスについて、お二人の専門家をお招きして考えてみたい。近藤先生にはスポーツ倫理学の観点から、村越先生にはスポーツ心理学の観点からのご提題をいただき、参加者のみなさんとともに、「粗雑な自己責任論」に陥らないスポーツ事故の理解の仕方を模索するための議論を深めると共に、授業におけるスポーツ指導の更なる向上に役立てたい。



講師：近藤良享（中京大学スポーツ科学部教授：スポーツ倫理学）

演題：見よう、見まねのスポーツ実践

講師：村越真（静岡大学教育学領域教授：認知心理学、リスクマネジメント、安全教育）

演題：自然のリスクー魅力とのジレンマにどう向き合うか？

司会：奥田太郎（南山大学社会倫理研究所第一種研究所員：倫理学）

【お問合せ】南山大学社会倫理研究所

Phone:052-832-3111(内線:3413,3414) Fax:(052)832-3703

e-mail:ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp HP: <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>